



シグナルグリーンの1991年式ポルシェ964ターボ、通称ポルシェターボが入るガレージに導入されたEG WAY OUT。ダクトホース、モーターはすべて標準仕様。

クルマの排気ガス、どうしたらいいですか？

ガレージ内にこもる排気ガスを強制排出してガレージ内をクリーンに保つ

EG WAY OUT

株式会社セーフティライフ 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目2番11号LOMASビル TEL: 052-221-8684 <http://www.safety-l.com/egwayout/>



ポルシェのマフラーの幅に合わせてアジャストができるようになっているダブルタイプのアタッチメント。アルミ形状なので軽く、移動式もイージー。



ベントキャップにより、外観の景観も損なわないEG WAY OUT。導入するときに、メーカーにあらかじめ相談しておくといいだろう。

大好きなクルマ。そのマフラーから出る排気ガス。当たり前のことだけど、排気ガスがガレージに溜まって充満すると、一酸化炭素中毒を始め、万が一に繋がる危険がいっぱい。そこで、ガレージに排気ガスが溜りやすい弱点を解消するために、開発された、強制的にガレージ外に排気ガスを排出するシステムが「EG WAY OUT」。

このシステム自体は以前からあるものだが、従来は輸入品の高価なものが主流だったため、ガレージオーナーにとって憧れのアイテムの1つとして、羨望のままざしを向けるしか無かった人も多かったろう。しかし、今回紹介するアイテム「EG WAY OUT」は、開発を行なった代表自らが根っからのクルマ好きとあって、耐久性の高い部材で製造し、商品化に繋げたことで、低価格化に成功。3年前より販売し始めた。すると全国のスーパーカーオーナーやクラシックカーオーナーからの問い合わせが相次ぎ、現在では2ヶ月待ちという状態とか。

この排気ガス排出システム「EG WAY OUT」は、壁面に設置するモーターと、排気ガスを逃がす耐熱ホース、そしてマフラーから出る排気ガスを受ける専用アタッチメントの3つで構成される。モーターは家庭用の100Vの電源での稼働が可能で、このモーターを壁面に取り付けることで最も効率良く排出できるように設計されている。またクルマのマフラーの形状に合わせて、アタッチメントをシングルにしたり、ダブルにするなど細かなオーダーができるのも「EG WAY OUT」の魅力といえるだろう。

過去、このシステムを採用したオーナーのクルマは、ランボルギーニやポルシェ、フェラーリやクラシックカーまで実にさまざま。実際今でも、これらのスーパーカーのマフラーから出てくる排気ガスを確実に受け止め、モーターで吸い上げ屋外へと排出し続けている。オーナーからは「排気ガスが漏れてガレージ内にこもることがないので、安心して暖気運転ができるようになった」、「シャッターを開けているのも安心してメンテナンスができるようになった」など、賞賛の声が届いている。空気のクリーンなガレージを目指して、ぜひ設置したいアイテムだ。価格は57万7500円からとなる。

※現在、全国で代理店を募集中。詳細は問い合わせを。